

青年部事業所の各種施策・政策活用事例

商 工 会 名	(鳥取県) 琴浦町商工会		青年部員名	光本 朋広
企 業 名	光本商店		代表者名	光本 みゆ子
企 業 概 要	業 種	飲食業	設 立 年	大正 10 年
			従 業 員 数	3 人
補助事業名	女性の要望にきめ細かく対応することによる販路拡大計画			テーマ区分(選択) 新商品開発・設備投資・広報・新規開拓・その他()

【施策・政策を活用した経緯】

大正 10 年に酒類・鮮魚の販売店として創業。その後、仕出し・料理店部門を開業する。平成 17 年に行政が合併し、役場関係の宴会が減り、売上の減少をカバーするため、平成 18 年 10 月から居酒屋を開業した。平成 25 年に事業主の死亡により、妻が事業を承継。また、長男と次男が事業に従事し、仕出し・宴会・居酒屋のそれぞれの部門を担当し、多角的な経営を行っている。

しかし、ここ数年すべての部門で売上が減少しており、売上高増加について商工会へ相談する。売上高の 7 割強を占める、仕出し・宴会部門の強化を目標とし、地域環境を踏まえ、消費者ニーズにマッチした新たな取り組みをする必要があった。

【主な活用内容、方法等】

商工会産業支援センターによる経営支援を活用し、経営状況の把握を行った。また、環境・顧客分析、原価を見直し、顧客増加と適正利益の確保を図った。

女性客をターゲットとし、女性の要望にきめ細かく対応することによる販路拡大を計画し、県版経営革新計画・補助金を活用し販路拡大計画を実施する。女性に選ばれる店舗とするため、持続化補助金を活用し、宴会場のトイレを改修した。また、高座テーブルと高座椅子の導入で、新たな顧客の獲得と顧客満足度のアップにつなげ、女性客の獲得につなげた。また、専門家の指導を受け、効果的な販促ツールの作成で販路開拓を行った。

【活用の成果】

1. チラシの配布により、商圈が拡大
 - ◆ 女性に好まれる店づくりをし、女性客にアピールして、法事や家族のお祝い行事等の利用者が増加した。
 - ◆ 販促に効果のあるチラシを定期的に作成し、エリアを広げて配布した。積極的に営業活動を行い受注が増加した。
2. 顧客満足度アップが、宴会・仕出し等の受注増に
 - ◆ トイレ改修工事により、女性客が利用しやすくなった結果、女性顧客が増加し、改修工事前は 3 割であった女性の割合が、4 割に増加した。
 - ◆ 店舗の選定に決定権を持つ女性をターゲットとすることで、宴会・仕出し等の受注が増え、売上が 2 割増加した。

写 真(3 枚程度)

【成果物等の写真】



宴会場のトイレを男女別に

【活用後の声】

鳥取県版経営革新計画支援補助金と小規模事業者持続化補助金を活用し、広告宣伝と施設の整備に取り組み、以前からの念願であったトイレの改装を行うことができました。今後も計画に沿って確実に実行していきたい。

青年部事業所の各種施策・政策活用事例

商 工 会 名	(鳥取県) 日南町商工会		青年部員名	小谷 博司
企 業 名	駅前食堂にしむら屋		代表者名	小谷 博司
企 業 概 要	業 種	飲食業	設 立 年	平成14年
	売上規模	千円/年(任意)	従業員数	3人
補助事業名	ランチタイムにおける日替わりバイキング形式への一部業態変換及びおかずテイクアウトの開始		テーマ区分(選択) 新商品開発 ・ 設備投資 ・ 広報 ・ 新規開拓 ・その他()	

【施策・政策を活用した経緯】

JR 駅構内テナントとしての運営で、元々は日替わり定食を中心とした事業展開であった。しかし、曜日によってランチタイムの来店客数にバラつきがあること、食材が余ると廃棄ロスがありコストもかさむこと、ランチタイム以降のアイドルタイムの来店客数が少ないなどの問題点があった。そこで、一部ラーメンなどのメニューは残しつつ、日替わりバイキング形式への業態変換や、おかずのテイクアウトサービスの開始により来店客数及び客単価の向上を図ることとした。

【主な活用内容、方法等】

商工会産業支援センターの経営支援を受けながら、以下の内容に取り組んだ。

- ・売上、粗利益率ベスト5などメニューの現状分析
- ・課題の抽出、消費者ニーズ動向、町内競合店ポジショニング分析
- ・事業計画のブラッシュアップとメニュー開発に商工会の専門家派遣を活用。
- ・業態変換に伴う店舗改装には持続化補助金を活用。併せて、町チャレンジ補助金も活用した。
- ・facebook ページ作成支援、情報発信支援を併せて行い顧客へのPRを行った。

【活用の成果】

- ・客単価が上がり、新規来店客が増えた。
- ・福祉施設等から高齢者がグループで定期的に来店するようになった。
- ・(地元から少し離れた市街地である) 米子市内等から来店する熱狂的なファンができた。
- ・食材の廃棄ロスにつながり、人件費や光熱費の削減にもつながった。
- ・従来から実施している宅配弁当も新規客が増えた。

写 真(3枚程度)

【成果物等の写真】

にしむら屋ランチバイキング 始めました!

地元の食材や新鮮な魚を使った24種類以上の手作り料理を提供しています。心暖まる場所となるよう今日も元気に営業しています。



町報に掲載しPR



【活用後の声】

前から計画していた新しい業態に進出することは不安であったが、商工会産業支援センターが、各種補助金や専門家派遣など色々なメニューでタイムリーに支援してくれ、上手に活用することができた。